

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	パンジャブ州マリー地区郊外において、水道水供給システムを修理・建設することにより、良質な水を供給し水に起因する疾病を予防するとともに主として女性を水汲みの重労働から解放する。
(2) 事業の必要性(背景)	パンジャブ州マリー地区は「マリー統合水道局の運営と整備見積りに関する2007～2008年次報告書」を作成し積極的に水道事業の改善に努めているところであるが、主として財政的な事情により、その計画は軍施設、ホテル、別荘等のある地区中心部のみであり、人口の90%を占める郊外地域はほとんど計画されていない。そこでJMASとしては、郊外地区を7分割し7ヵ年で郊外地域の水道水供給システムを改善する中期計画を策定し、1次事業はカカライ村等で水道改善事業を行い、2次事業はガヘル及びラスコータル村で水道改善事業を実施した。3次事業では中期計画にのっとり、シハンナ村で同様の水道改善事業を行う。 シハンナ村では水源からの送水用パイプや水道水貯蔵タンクがほとんど無く、ほぼ全家庭が深刻な水問題を抱えている。女性や子供達は遠く離れた水源地から水を壺に入れて運んでおり大変な重労働である。本事業は良質な水を常時供給することにより住民の生活状況及び健康状況を改善するとともに、女性、子供達を水汲みの重労働から解放することである。 2010年10月シハンナ村では既に住民を代表する水道組合が設立されており、当会に対して水道水供給状況を改善すべく支援要請が出されている。 別紙1 マリー郊外地区水道改善事業中期計画 別紙2 シハンナ村支援要請
(3) 事業内容	(イ) ハードウェア部分 パンジャブ州マリー地区郊外のシハンナ村において水道水供給システムの改善を目的として、マリー地区当局との連携・協力の下、同地の水道水供給システムを修理・建設するものである。 水源付近に水源用タンクを1基、メインタンク(10,000ガロン)1基、サブタンク(1,000ガロン)8基を新設し、既存のサブタンク1基を修理する。また全長約12,200メートルの導水管でこれらのタンクを接続する。 水道水供給システムの建設に当たっては、パキスタンイスラム共和国の建設基準に則り、施工管理を図るほか、公共性、公平性の確保に努める。 当会としては、これまで地区当局をはじめ関係機関や地元住民との協議や対話を通じ、主体的にニーズの把握や案件形成に努めてきた。本プロジェクトはサイト近くのマリー地区市街地に現地事務所を借り上げ(自己資金)、現地人プロジェクトマネージャ1名を含む現地スタッフ3名を中心として、業者選定から施工管理、設備納品まで一貫したプロジェクト管理を行なう予定である。 (ロ) ソフトウェア部分 水道水供給システムの修理・建設とともに、当会としては、本プロジェクトの一環として、地元住民参加による水道組合を組織化し、水道水供給システム

	が破損した場合の修理技術や、水質検査の技術を移転し、本システムの維持管理の全責任を地元水道組合に負わせる予定である。 なお、マリー地区当局が工事の実施及び住民の指導等全面的に協力する旨確約を得ている。 別紙3 マリー地区当局合意書
(4) 持続発展性	本プロジェクトの一環として地元水道組合を組織化し、本システムの建設終了後、本システムの維持管理に必要な水質検査、タンク清掃、施設修理技術を移転するとともに、必要な工具、予備部品等を提供する。 その際、維持管理経費(630世帯より各世帯50ルピー)の積み立てを指導する。 また、事業撤退後の水道組合の指導監督についてマリー地区当局と調整を図る。 別紙4 水道組合組織表
(5) 期待される成果と成果を測る指標	水道水供給システムの修理・建設はシハンナ村住民約630世帯(約4,400人)に直接下記の成果を期待できる。 (イ) 良質な水を取得でき、水に起因する疾病を予防できる。 家畜や野生動物に汚染された水を飲み水として使用しており、良質な水を取得できれば、細菌性食中毒、腸チフスなどの水に起因する疾病を予防できる。 成果を測る指標：簡易水質検査キッドによる水質の判定結果 (ロ) 主として女性が水汲みによる重労働から解放される。 ある者は往復2kmの道程で水汲みをしている。また渇水期には壺を一杯にするために数時間を要し、順番待ちのため一晩かかる場合がある。 成果を測る指標：水汲みに要する距離、時間の短縮 (往復1km、1時間以内) (ハ) 生活費が軽減する。 村人は結婚式や葬儀の時、あるいは渇水期には水を購入している。その値段は30ℓに100ルピーを支払っている。1家族(平均7人)の飲み水だけでも1日40ℓは最小限必要と思われる。一日の日雇い労働者の賃金が200ルピーであることから村人にとって大きな失費である。 成果を測る指標：家庭における水の購入経費の変化 (ニ) 水道組合の組織化 水道組合に対し、組織を編成し、水質検査、タンク清掃、施設修理技術の移転及び会計管理等維持管理について指導し、水道組合を組織化する。 成果を測る指標：水道組合の維持管理状況の評価